

# 全国30万国鉄労働者の実力決起で中曾根が血路を切り折る

## —「去るも地獄、残るも地獄」をぶち破るため—

# 動労千葉

85. 9. 13

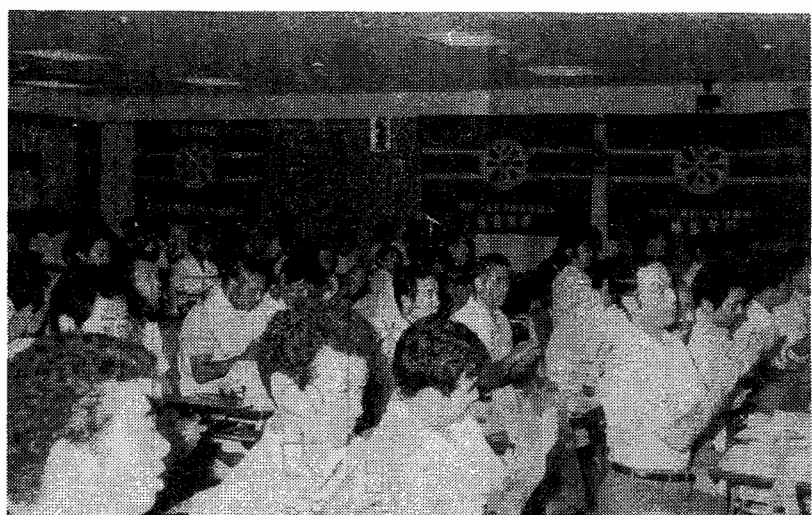
No. 2038

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二七・二〇七

※2日※  
(午後)  
運動方針  
（案）討議

\*\*\*\*\*  
動労千葉第十回定期大会は、二日目の午後、約四時間にわたる白熱した討論を展開したのち、「11月下旬『雇用安定協約期限切れ』問題をめぐるストライキ決起によって、必ず『答申』を粉碎し、中曾根を打倒する」との総決起方針を満場一致の圧倒的拍手で確認した。各代議員の発言要旨を紹介する。



今秋11月ストライキ決起を突破口に30万国鉄労働者の実力で中曾根と答申を粉碎するぞ！ 総力決起の運動方針を満場の拍手で確認。（第2日目）

れ、話しがちがうと区長に申し入れてもの笑いになってる。  
・「見習養成」を終えた五五年予科生に辞令がおりないのに、わがままで運転士見習になった名雪に辞令をおろす動きがあるときくが事実のほどはどうか。  
\*\*\*\*\*  
**大会速報**  
N64

### 勝利のための決戦体制を

滝口 誠（幕張支部・運修・41才）  
中曾根の「分割・民営化」攻撃は、「日産の労働組合」にすることを狙ったものであり、「去るも地獄残るも地獄」が待っているならば心一つにして闘おう。闘う以上勝たねばならず、そのための決戦体制を築こう。波状ストを打ち抜き、国鉄と三里塚で中曾根を打倒するため全力で闘おう。

### 土屋一派・革マルの一扫は

勝利への必須条件  
渡辺 和志男（勝浦支部・電運士・40才）  
自民党を推薦する社会党議員がいるが、社会党に申し入れて反省を求めろべきだ。  
・デッチ上げ「千葉地本」の土屋一派、革マル、嶋田らを追放・一掃しない限り動労千葉の生きる道！中曾根打倒はないと思うが、具体的にはどう闘っていくのか本部の指導を求めろ。  
・「60・3」以降の労働強化はすさまじいが、人間らしく生活するために今後の「ダイ改」への方針をききたい。

・当局の「徐行解除」・「スピードアップ」の処置により乗務中疾病や事故が発生している。組合の主導による「線区徐行」をやるべきだ。  
・国鉄を赤字にした張本人が政府・財界であることを国民に訴えていこう。

（裏面に続く）



現場での闘いの貴重な教訓にふまえた発言が続いた。

### 絶望的で成算のないのは中曾根の方だ

綾部 光 男（津田沼支部・電運士・39才）  
中曾根の攻撃は絶望的で成算がないものであるにもかかわらず、国労民同、日共の屈服、動労「本部」革マルの反革命的促進は敗北主義をまんえんさせており、「61・11」にむけ断固たるストに決起していかねばならない。動労「本部」革マルに対し、分離・独立時の闘いを再度展開すべきだ。  
闘う方針が示されれば必ず決起する  
大須賀 昭 男（成田支部・機関士・41才）  
・動労革マルの裏切りもあって、この三年間で十万人が削減されたうえに、さらにこの一年半のうち十万人もの首切りが行われようとしている。すべてを奪われる攻撃に、一切をかけて対決していかねばならない。  
国鉄労働者は、闘う鮮明な方針を提起すれば必ずや決起する。三十万国鉄労働者は動労千葉の決起に期待している。全力で闘おう。

### 職場のもの笑い 利己主義者「本部」派

伊藤 隆（銚子支部・電運士・38才）  
・職場の「本部」派は、自分達だけは生き残ろうとエリをただしたものの「余剰人員」に区分けさ